

免疫チェックポイント阻害剤治療患者の電話相談内容から治療導入時の患者教育を考える

1. 研究の対象

2015年12月1日から2017年12月31日に腫瘍内科において免疫チェックポイント阻害剤の投与を受けた方(治験は除く)

2. 研究目的・方法

研究目的：当院で免疫チェックポイント阻害剤の投与を受けた患者が投与後に電話相談を行った内容を分析し、初回投与時の患者教育に役立てる。

研究期間：平成29年9月22日～平成30年7月19日

調査方法：診療録(電子カルテ)調査

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患名、既往歴、治療薬剤、投与回数、治療期間、副作用の発生状況、治療開始後に電話相談を行った件数とその内容等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

《研究責任者》

地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

看護部 中村理恵子